

第3学年 国語科 単元名 感想文を書こう 教材名「ちいちゃんのかげおくり」(光村図書3年下)

単元の目標 登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉え、感想や考えをもつことができる。

【本時のめあて】

理由をはっきりさせて、第4場面の感想を書こう。

【課題設定の工夫】

オンリーワンの感想文を書くことを目指して、各場面の感想を理由を明確にして書き溜めた。



【考えを深めるための工夫①】

グループで話し合い、考えを交流した。自分の考えに自信をもったり、違う考えに触れたりして、考えを深めることにつなげた。

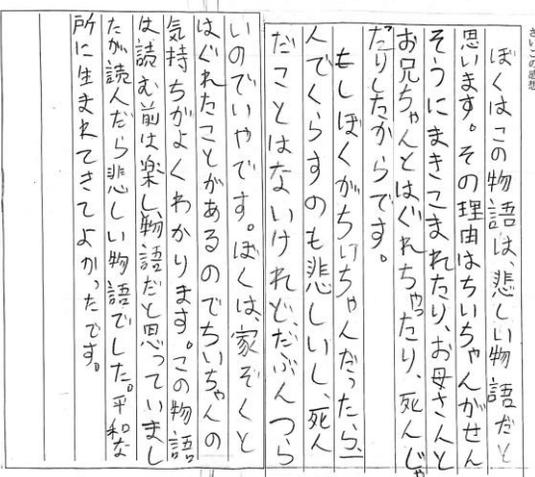
【考えを深めるための工夫②】

学級全体でも意見を交流して、様々な考えに触れる機会を設定した。



【評価(見取り)の工夫】

授業の始めと終わりに自分の考えを書くことができるワークシートを活用した。それにより、一人一人の考えの変容が見取りやすくなった。



最後の感想では、その児童ならではの視点が見えるようになった。

【○成果と▲課題】

○毎時間感想を書き溜めることで児童に書く力が付き、のちに振り返って感想を書くことにつなげることができた。

○ワークシートの工夫によって、児童の考えの変容が見取りやすいものになった。

○個人→グループ→全体→個人の学習展開によって、自分の考えに自信をもったり、友達の考えを参考にしたりして、考えをよりよく変容させている児童がいた。

▲グループでの話し合いでは、ワークシートのメモ欄を活用し、そのメモを自分の感想に生かせるようになった。

▲「自分が登場人物だったら…」など、経験と結び付けた感想を引き出すことができたならよかった。▲話し合い活動の学習経験が少なかったため、話し合いの話型などを示してもよかったのではないかと。